学校番号	３０１８

令和８年度 公民科

教科	公民	科目	政治経済	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　政治・経済」（第一学習社）						
副教材等	「政治・経済ノート」（第一学習社） 「最新政治・経済資料集」（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学校の社会科及び１年で学習した公共を思い出し、日本だけでなく、世界各国の政治経済の動向にも気を配れるようにしましょう。
・各事象がなぜ起こったのか、どのような流れをたどり、どのような結果になったかをよく考え、別の流れと結果も予想し、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・政治・経済ノートをまず自分で教科書を見ながらやってみましょう。その後、答え合わせをしてください。今後の学習をおこなう上での基本的な知識となります。政治・経済ノートは定期的に提出してもらいます。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・授業中のノートは板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいた事やクラスメイトの発言した内容などを枠外に記入していきましょう。ノートは定期的に提出してもらいます。

２　学習の到達目標

・現実社会の政治経済の問題解決に必要な知識や技能を習得する。
・政治経済の諸課題を分析・議論・判断して、社会参画に向かう力を身につける。
・政治経済の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養い、民主的な国家や社会をつくるための自覚を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a 知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる知識や考え方などについて理解するとともに，さまざまな資料から，社会のあり方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な考え方や政治経済に関する知識や理論などを活用して、課題を発見し、身に付けた判断基準を使って自らの考えをまとめ、表現することができる。また、各課題に関してさまざまな観点を用い、議論し公正に判断することができる。	平和的で民主的であるよりよい社会の実現を考えながら，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知（a)	思（b)	主（c)
1学期	第１編 現代 日本の 政治・経済の諸課題 第１章 現代 日本の 政治・経済	第１節 日本国憲法と現代政治のあり方 ・政治と法の意義と機能 ・法の支配と立憲主義 ・基本的人権の保障と日本国憲法 ・現代社会における新しい人権 ・権利と義務との関係 ・議会制民主主義と世界の政治体制 ・国会の組織と立法 ・内閣の機構と行政	a：政治や政治権力の意味とその役割、法の支配や立憲主義の意味と意義、基本的人権が確立した背景や経緯、新しい人権が主張されるようになった背景や具体的内容、人権保障確立の人類の努力、民主政治の考え方や議院内閣制や大統領制の特徴、国会の地位と構成、法律の成立要件、日本の内閣と国会の関係、内閣総理大臣と内閣の権限について理解している。 b：法の意義と機能、国家の統治原理として，法の支配や立憲主義を確立することの大切さ、個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等、権利と義務との関係、よりよい民主政治のあり方、国会や行政の課題について多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「日本国憲法と現代政治のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察
		第２節　望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方 ・地方自治制度と住民の権利 ・政党政治と選挙	a：地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度政党の意義と役割について理解している b：地方自治における住民の権利と住民運動の意義、日本の政党政治や選挙の課題、望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：「望ましい政治のあり方と主権者としての政治参加のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察
		第３節 市場経済の機能と限界 ・経済活動と市場 ・経済主体と経済循環 ・国民経済の大きさと経済成長 ・物価と景気変動	a：経済の役割と，市場経済における人々の選択　資本主義経済の特質とその変容、三つの経済主体の活動と，経済循環における役割、株式会社のしくみと株主との関係、ストックとフローの概念・ＧＤＰなどの指標、経済成長率における名目と実質の違い・経済成長の要因、インフレとデフレの原因と影響，景気変動のしくみ物価や景気の変動に対する政府の施策、市場の失敗の事例と弊害、公害と消費者問題に対する施策について、理解している。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 発表	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ 発表 観察

		・市場の失敗と公害・消費者問題	b: 価格の決定、市場、企業の社会的責任のあり方、自立した消費者としてどのような行動をとるべきか、市場の機能と限界や解決のあり方などについて、多面的・多角的に考察し，表現している。 c:「市場経済の機能と限界」について，よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
2学期		第４節 持続可能な財政および租税のあり方 ・財政のしくみと租税の意義 第５節 金融を通した経済活動の活性化 ・金融のしくみとはたらき	a: 財政の機能としくみ、租税の種類やその特徴について理解している b: 財政における国と地方の役割分担や持続可能な財政のあり方について、多角的に考察，構想し、表現している。 c:「持続可能な財政および租税のあり方」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a: 金融のはたらきと金融機関の役割、日本銀行の金融政策とその影響について理解している b: 現在の金融をめぐる動向とその課題、金融を通した経済活動の活性化のしくみやあり方について、多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c:「金融を通した経済活動の活性化」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察

	第２章 現代日本の諸課題の探究	第６節　経済活動と福祉の向上 ・日本経済の変化と中小企業・農業問題 ・労使関係と労働問題 ・社会保障制度と福祉のあり方 各自選択した課題	a：日本経済における産業構造の変化、現在の日本経済の現状と課題、労働三法の内容、日本の社会保障制度について理解している。 b：日本の中小企業や農業経営者が直面している課題、現在の日本の労働問題や，労働環境をめぐる課題、日本の社会保障制度の課題、経済活動と福祉の向上との関連などについて多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「経済活動と福祉の向上」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 b：現代日本社会の諸課題を探究する活動を通して，各種課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 c：各種課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察
	第２編 グローバル化する国際社会の諸課題 第１章 現代の国際政治経済	第１節　国際法の果たす役割 ・国際社会の変遷 ・国際法の意義 ・国際機構の役割 ・国際紛争と軍縮への取り組み	a：21 世紀以降の国際社会の動向、国際法と国内法の違いや，国際法の種類や特徴、さまざまな国際裁判とそのしくみ、勢力均衡と集団安全保障の違い、国際連合の機能と主要機関の役割、国際紛争の原因、・紛争当事者の変化や平和的解決のための取り組みについて理解している。 b：国際社会の多極化や国際協力、領土問題などの国際紛争の解決のあり方、国際連合のあり方、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か、などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：「国際法の果たす役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表	観察 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察

		第２節 国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 ・日本の安全保障と国際貢献 第３節 相互依存関係が深まる国際経済の特質 ・貿易の現状と意義 ・国民経済と国際収支 ・為替相場の変動 ・国際協調と国際経済機関の役割	a：平和主義の理念と日本の防衛政策の関連、日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について理解している b：国際社会において日本がこれから果たすべき役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 c：「国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 a：比較優位の考え方や国際分業の利点、国際収支統計の基本的な構成、変動相場制における為替相場の決定のしくみ、日本の対ドル為替相場の推移と日本経済の動向、さまざまな国際経済機関の役割や課題について理解している b：現在の世界と日本の貿易の現状と動向、日本の対外経済取引の現状、地域的経済統合やＦＴＡ・ＥＰＡの意義と課題、国民経済と国際経済の関係で国益と地球的な規模での協調が求められている現状と問題点、などについて、多面的・多角的に考察，表現している。 c：「相互依存関係が深まる国際経済の特質」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察
３学期	第２章 国際社会の諸課題の探究	第４節 国際経済において求められる日本の役割 ・国際経済における日本の地位と国際協力 各自選択した課題	a：国際経済における日本の地位について，理解している。 b：国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現している。 c：「国際経済において求められる日本の役割」について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 b：国際社会の諸課題を探求する活動を通して，各種課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会のあり方についての自分の考えを説明，論述している。 c：各種課題について，よりよい社会の実現を視野に，現代社会の諸課題を主体的に解決し，合意形成や社会参画に向かおうとしている。	定期考査 確認ﾃｽﾄ 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート	定期考査 提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表	提出ﾉｰﾄ 政経ﾉｰﾄ ﾜｰｸｼｰﾄ レポート 発表 観察

表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に取り組む態度